

篠山市清掃センター検討委員会会議録

1. 会議名 篠山市清掃センター検討委員会（第9回）
2. 日時 平成31年1月25日(金)13:30～15:05
3. 場所 篠山市役所 2-301・302会議室
4. 出席者 会長 酒井 隆明（篠山市長）
副会長 森口 久（篠山市自治会長会）
委員 浦邊 真郎（学識経験者）
委員 波多野恭守（味間まちづくり協議会）
委員 斉藤 邦彦（大山郷づくり協議会）
委員 太田 鈴子（篠山市愛育会）
委員 田中 義治（篠山市商工会）
委員 平野 芳行（篠山市社会福祉協議会）
委員 羽田登喜雄（篠山市老人クラブ連合会）
委員 平野 斉（篠山市副市長）
委員 梶村 徳全（篠山市総務部長）
委員 稲山 悟（篠山市政策部長）
委員 野々村 康（篠山市市民生活部長）
委員 川嶋 将太（篠山市法務専門員）
(欠席)
委員 酒井加世子（篠山再生計画推進委員会）
委員 荒木 明（篠山市企業懇談会）
5. 事務局 篠山市清掃センター所長 松上博幸
副所長 日置春雄 係長 北川勝也 係長 細見裕
6. 議事日程
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ
 - (3) 報告 職員プロジェクトによる候補地検討結果
 - (4) 議事 清掃センターの今後について
7. 会議の内容
 - (1) 開会 司会 日置副所長（事務局）
 - (2) あいさつ 酒井会長
皆さんこんにちは、寒い毎日が続いておりますが、委員の皆様にはご健勝でそれぞれの立場でご活躍いただいております事、心から敬意と感謝を申し上げます。この委

員会は大切な審議が続きますがよろしくお願ひします。

前回は職員プロジェクトチームの結果を報告させていただき、一つは候補地として特に選んだ3地区以外にも評点の高かった地区についてさらに調査するという事と、もう一つは今の場所で建て替えた場合との比較はどうなるかというご意見を委員の皆さんから頂きました。その事について、その後プロジェクトで調査しておりますので報告させていただき、皆さんのご意見を聞き進めていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

(3) 報告

松上所長(事務局)より、前回(第8回)検討委員会以降に行われた、職員プロジェクトによる候補地追加検討結果について資料5、資料6、資料7及び前回の資料3により説明

(4) 議事

会長

第1点目の前回から検討している15箇所以外に候補地は無いのかという事ですが、これ以上は見当たらないという報告です。2点目の前回検討した3か所以外の4カ所について、検討しましたが候補地として適さないという報告ですが、この点についてご意見ご質問があればお願ひします。

(沈黙)

会長

それでは、特にご意見は無いという事で承っておきます。

3点目の現在地との比較についてご質問は無いですか。

A委員

15箇所の候補地から絞り込んだ3箇所に、4カ所を加えて再度検討した結果、全てが困難もしくは非常に困難という結果だが、地元からすれば、過去にいろいろな経緯を経て、25年したら新たな場所だと覚書が締結されている中、数値が良かったので現在地で継続したいというのは、地元も納得されないのではないか。

B委員

現行調査した結果は、地元自治会に親切丁寧に報告してほしいと思う。

8年はすぐ過ぎるので、今後どのようなスケジュールで進めて行くのか、検討委員の立場としても知っておきたい。

会長

この報告を、この場で了解頂いたとして、地元の説明していくことになるのか、それとも、今の報告の中身をさらに検討していくのか、進め方を考えなければならない。

B委員

検討の中身については、プロジェクトチームの専門的知識をお持ちの方がしていただいております、我々は検討委員会のメンバーでありながらそのような知識が無いので、プロジェクトチームの検討結果を重んじて行きたい。現在の場所での約束の期間は実質8年しかない。3年、5年はすぐ経ってしまうし、候補地のあるなしでスケジュールが変わってくると思う。前回の検討委員会は新聞でも報道されているので、地元の皆さんもある程度関心をお持ちだと思う。

C委員

現在地との比較の表で最下段に現在地の評価結果がでていますが、現在の場所への施設設置当時に橋梁等は無かったのではないかと。今は橋梁があるからといって、この部分を加点すると現在の場所の評価が高くなりすぎるのでは。場所を選定するという意味では、もともとあの場所には橋梁も上水も無かったと思うので、それらの項目は「×」で評価するべきではないか。結果として、別の場所に行くと工事費等が高つくという話になったとしても、今あるからといってそこを加点すると動きようがない。

事務局

職員プロジェクトで話し合った中では、現在、水道も橋梁も整備され県道からの構内道路も整備されているので、その状況で評価をすればよいのではという事だった。

C委員

スタート時点で無かったものは無いものとして評価しなければ、結果として、橋梁も水道も付けなくて良いため、工事費等で変わる事があるにしても、最初からそれらが整備されているので評価を「○」にしているのは、現在地ばかりがプラスになり他に行きようがない。例えば、それらの事をふまえて現在地を評価すると、評価点が⑦地区と変わらなくなったとする。評価点としては変わらないので、他の条件はどうかという判断をして、現在地以外では橋梁等が無い分費用としては高くなるので、費用を出してでも新しい候補地に行くのか、安い方に行くのかと言う比較をしなければならない。この段階での評価点15点というのは理解を得られないのではないかとと思う。

A委員

私が思ったのは、今回追加で検討した4箇所は仕方がないとしても、最初に絞り込まれた3箇所をもう一度詳細に評価してもらって、最後に現在地との比較をしてもらう。やっぱり現在地が良いという結論であれば、あとは地元説明といった格好になるが、それまで

に、もう一度できる範囲でやってもらいたい。この状態で話を持って行っても地元もなかなかうんとは言わない。やはり25年間の覚書締結の際、一生懸命努力された方がまだおられるので。

会長

もう一度、現在地の橋梁や上水等の条件は無しにして評価した場合はどうなるのかという観点から、きちんと前の3箇所と今の場所を比較しなければならないのではないかと言うご指摘です。

C委員

単純に言えば、現在地の評価から橋梁と上水を除くと評価点が13.5点になるので、そういう意味では⑦地区と変わらないスタートラインになるのではないかという意味です。そんなに多くを見直せと言っているわけでは無い。

D委員

意見として申し上げたいが、候補地を絞り込むにあたり、どのようにこの3箇所の候補を決めたか根拠が見えない。表示判例では○は容易（問題無し）で△は普通となっているが、容易か普通かの判断基準がどこかという事、また○が1点、△が0.5点、×が0点、その他、総合的な判断として討議加点もされているが、加点の根拠も見えない。この資料は表に出るのか。

事務局

表には出ません。

D委員

もし出るのであれば問題になるのではないかと思います。

E委員

いまD委員さんからご指摘いただいた件については、我々プロジェクトチームでは、それぞれスキルを持っている職員を集め、1年以上に及ぶ期間、評価をしてきましたが、1次選定、2次選定、3次選定という形で要件を定めて、それに従った形で判断して絞り込んできた。それについては最初の検討報告書に記載しています。その結果として、候補地の中から絞り込んだ⑦地区、⑧地区、そして⑥地区。これらの状況と、判断の具体的な内容については、資料3の30ページにまとめている。ただ、言葉で示すだけでは委員さんにご理解いただけないのではないかという事で、もう少し見える形として点数付けをしています。判断基準は1次、2次、3次の選定で要件を定めた事について、それぞれスキルを持った委員による議論等を重ねながら進めてきたというのが実際です。

D委員

評点であれば、1点と0.5点だけでなく、0.75点や0.25点という評価もあるのではないかと思ったので発言させていただきました。

会長

点数が高いところに決まるというわけではなく、皆さんの議論の中で点数が下でも別の場所の方が良いという事もありえると思う。

E委員

先ほどA委員からもご意見をいただいたので、プロジェクトとしては前回の報告で絞り込んだ3箇所について、もう一度詳細に検討し、再度現在地と比較させていただきたいと思う。

F委員

報告書その物については、これだけ専門的な方が集まられて、それぞれの立場で検討いただいた事からすると、我々として異議を述べる部分はないのではないかという気はする。しかし、この後どうなるのかという事になると、一番肝心な部分が抜けている。

1つは、新しい場所に行くのなら、地域や地権者等との交渉が必要であり、それらの困難性を、どのように評価するのかと言う問題が出てくると思うし、逆にまた、現在の場所について、高い評価をされているが、これについても今までからの経緯があり、もし今後継続させていただくとなれば、今後様々な調整が必要となり、それが非常に大事な要素になってくると思います。ハード、ソフトという部分で分けるならば、ハード面についてはプロジェクトの検討結果を受け止めざるを得ないのではないかと。ただし、今後はもっと大きな課題がのしかかってくるという認識だけは、委員会はもちろん、市当局でも充分理解をしたうえで、次のステップへ動いていただく必要があるという気がします。

もう一点、橋や道路の有無という問題ですが、たしかに工事費と言う部分では相当差異があると思います。現に現在地については立派な橋が出来上がっており、道路も整備されているのですから、財産的価値からしても相当高い値になっていくはずだと思うし、それに対して公共が投資してきたという経過も認識しなければならない。逆に新たな土地という事になると、それらについては別途費用負担が発生すると思うので、この部分での比較は当然必要になってくる。

G委員

この報告を見せてもらう限り、プロの方が精査されて作られている。検討委員は各団体から選出されて委員なので、そこまでのスキルは持っていない。「市としてはここだ」という所まで絞って頂いた上で、今の場所でするのか新しい場所でするのがいいのか、それぐらいのレベルの検討までぐらいしか私共は恐らくできない。地元の方との関係もあるし、いろんな感情があって難しい問題もあると思うが、最初に市長が覚書を尊重するとおっし

やったのでしたら、それを尊重しながら地元との協議を行って頂きたい。我々検討委員としてはどちらが有利なのか、強み弱みがどうなのか、それぐらいの検討しかできないと思う。

会長

今ここで決定しても、地元の意見はわかりません。しかし、覚書の内容と今回の検討を踏まえ最善の方法を考えます。

H委員

候補地となる地元の方の思い、現在の地元の方々の思い、それぞれ違う思いをお持ちと思う。今の時点では、費用面から言うと現在地で継続するのが良いと思うが、地元の方の思いはどうかという所を知りたい。

I委員

前回欠席していたが、前回の報告を受ける中で、現在の施設はもう1回基幹的設備改良工事を実施してあと10年使う事は可能という事だった。それならば、地元と交渉して10年間契約を延長して、現在の場所で継続するのが良いのではと思った。新しい場所に建てるにしても将来的に同じような問題が出てくる。現在地の地元の皆さんの声を大事に聞かせていただいて、継続は絶対にダメだという事で次の場所に行くなら良いが、今の段階で間口を広げて、あちこちに声をかけて行っても、それをまとめる事ができるのかと感じた。現在地であと10年延長して継続する事に地元の理解がいただけたら有難いことだと思う。どんなことがあっても延長できないという事なら新天地を見つけて行く。そういう方向で行ってはどうかと思う。

J委員

私も複数の自治体で候補地選定に関わってきた。候補地としての条件に合う土地は、ここで言うと点数の高い土地になるが、ごみ処理施設のように嫌われる施設の候補地として高い点数が付いたとしても、地元としては嬉しくない。歓迎される事は無く、どちらかと言えば「避けたい」と思われる。今回の場合、専門的知識を有する皆さんが、非常に客観的に評価しているので、個人的には非常によく努力されてここまで絞りこまれたと思う。手法的には非常に良いと思うし、委員の皆さんのご理解がいただけていると思う。

E委員

J委員さん、このプロジェクトを組んで報告書をまとめてきましたが、選定方法については、1次選定、2次選定、3次選定と要件を定めてその条件に合致するような土地を絞り込んでいったのですが、この方法について問題は無いですか。

J委員

他市でもだいたいそのようなやり方です。土地の造成の関係で、街中であれば隣接地が住居専用地域であればダメだとか、文化的施設や学校や病院の近くはダメだというのは一緒です。もう少し都市部になると、条件に合う場所が1箇所か2箇所しかない場合もあり、その1箇所も以前にこのような施設があった場所という場合もある。人口が減少しているような地域では、人の住んでいる便利な所、中心地域というのはほとんど変わらないので、真ん中ではなく離れた所に作ると市と市の境界になる事が多い。今回の場合は最初に15箇所選ばれたというのは、いい意味で言えば非常に恵まれていると言える。選ぶ候補地がほとんど無い場合もある。15箇所を3個所にまで絞り込んで、さらに深めて7カ所にするのは、通念ではどこが一番いいか絞り込むのがかえって難しくなる事もあるが、考え方ややり方は、非常にいい方向でされていると思います。

会長

ここで、現在地で継続するか新しい場所にするか決めても、それはそのとおり決まるわけでは無い。現在地をお願いしますといっても、理解が得られるとは限らず、ましてや新しい場所に持って行っても、今の検討は、地域や地権者の了解を得ているわけではないので、地権者や地域にダメだと言われたらそれで終わりになってしまう。どちらも問題点、課題があるという事をふまえた上で、どこが適地かと言う方向性を出して、それでもどうしてもだめならまた検討するという事になっていくと思う。

今日ご指摘を頂いた、現在地と最初に挙げていただいた有力な3個所について、検討が足りないのではないかと言う事ですので、さらに検討をお願いします。

E委員

はい、再度検討させていただきます。

D委員

会長が最初の会のあいさつで述べられたように、検討委員会は各種団体から出てきている委員の意見を聞くという事ですので、委員から意見が出なければ今日のところはもう終われば良いのでは。

会長

この会で決議をするという事にはならないと思うが、皆さんの意見が市民の意見で、その意見を尊重して篠山市としての方向性を決めていくという事だと思っています。

- ・ 第8回検討委員会会議録内容及び公開の確認
- ・ 委員及び傍聴者への当日配布資料回収の確認
- ・ 次回（第10回）検討委員会の日程調整（3月25日）

森口副会長

委員の皆さんの貴重な時間を拝借して慎重にご審議頂きました。次期候補地の検討についていろいろご意見を頂きました。これを参考にプロジェクトチームで十分に検討をお願いします。非常に微妙な部分がたくさんあると思うので、そういった部分も充分配慮いただいて今後の対応等おねがいます。本日はありがとうございました。